

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	ePTFE による extra-cardiac TCCP 術後遠隔期の conduit 狭窄に関する検討
研究責任者	聖隷浜松病院 心臓血管外科 曹 宇晨
研究実施体制	当院当科医師による後向き観察研究
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2026 年 3 月 31 日
対象者	当院または他院で心外導管 TCCP 手術を施行された患者さまのうち、2015 年 8 月から 2024 年 4 月の期間に、当院で胸部を含む CT 検査をお受けになった患者さまを対象としています。
研究の意義・目的	フォンタン型手術のうち、ePTFE という素材による心外導管 TCCP の中期成績は良好であり、現在 golden standard となっています。一方で、ePTFE でできた心外導管は時間経過とともに内膜の増生や石灰化、血栓形成を生じることが知られていますが、遠隔期における心外導管の状態に関する報告は不足しています。当院における心外導管 TCCP 術後遠隔期の心外導管の状態を後方視的に調査し、明らかにすることで、心外導管 TCCP 術後成人期の管理・治療戦略を見直すきっかけとしたいと考えております。
研究の方法	対象患者について、診療録から以下の項目を調査し、統計解析を行います。 年齢、性別、基礎疾患、初回心外導管 TCCP の手術日・手術内容、術後遠隔期の心臓カテーテル検査結果、術後遠隔期の CT、心外導管 TCCP 後再介入の内容と時期、心外導管 TCCP 術後の血液検査結果、最終受診日。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧ください。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 心臓血管外科 (氏名) 曹 宇晨 TEL: 053-474-2222 (代表) 心臓血管外科外来 9:00～17:00 平日